

三重県内の治安情勢（令和元年上半期・暫定値）

1 「刑法犯」の認知・検挙状況

認知件数は前年同期に比べ586件（10.5%）減少した。

	認知件数	検挙件数	検挙人員	検挙率
令和元年1～6月	5,002	1,759	919	35.2%
平成30年1～6月	5,588	3,010	1,124	53.9%
増減数	-586	-1,251	-205	
増減率	-10.5%	-41.6%	-18.2%	-18.7P

2 「重要犯罪」の認知・検挙状況

前年同期に比べ認知件数は10件（20.4%）減少、検挙率は6.2ポイント低下した。

		総数	殺人	強盗	放火	強制的性交等	略取・誘拐	強制わいせつ
令和元年1～6月	認知件数	39	3	5	5	9	0	17
	検挙件数	31	5	5	4	4	0	13
	検挙人員	35	5	9	4	5	0	12
	検挙率	79.5%	166.7%	100.0%	80.0%	44.4%	—	76.5%
平成30年1～6月	認知件数	49	2	7	6	11	3	20
	検挙件数	42	1	5	6	16	2	12
	検挙人員	23	2	3	4	4	2	8
	検挙率	85.7%	50.0%	71.4%	100.0%	145.5%	66.7%	60.0%
検挙率の増減		-6.2P	116.7P	28.6P	-20.0P	-101.1P	-66.7P	16.5P

3 「重要窃盗犯」の認知・検挙状況

前年同期に比べ認知件数は21件（3.3%）減少、検挙率は42.6ポイント低下した。

		総数	侵入盗	自動車盗	ひったくり	すり
令和元年1～6月	認知件数	610	525	82	2	1
	検挙件数	363	323	37	2	1
	検挙人員	46	31	13	2	0
	検挙率	59.5%	61.5%	45.1%	100.0%	100.0%
平成30年1～6月	認知件数	631	555	66	3	7
	検挙件数	644	518	117	0	9
	検挙人員	45	32	11	0	2
	検挙率	102.1%	93.3%	177.3%	0.0%	128.6%
検挙率の増減		-42.6P	-31.8P	-132.2P	100.0P	-28.6P

4 「重点犯罪」の認知状況

認知件数の総数は減少したが、自動車盗、車上ねらい、自転車盗が増加した。

		総数	空き巣	忍込み	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	自転車盗	特殊詐欺
令和元年1～6月		1,724	193	59	82	281	138	939	32
平成30年1～6月		1,858	226	74	66	273	227	932	60
増減数		-134	-33	-15	16	8	-89	7	-28
増減率		-7.2%	-14.6%	-20.3%	24.2%	2.9%	-39.2%	0.8%	-46.7%

※ 令和元年の重点犯罪は、「空き巣」、「忍込み」、「自動車盗」、「車上ねらい」、「部品ねらい」、「自転車盗」、「特殊詐欺」の7罪種である。

5 「特殊詐欺」の発生状況

前年同期に比べ件数は28件減少、被害額は約1億9,440万円減少した。

		振り込め詐欺	振り込め詐欺以外	合計
令和元年1～6月	件数	32件	0件	32件
	被害額	約6,080万円	0円	約6,080万円
平成30年1～6月	件数	60件	0件	60件
	被害額	約2億5,520万円	0円	約2億5,520万円
増減	件数	-28件	0件	-28件
	被害額	-約1億9,440万円	0円	-約1億9,440万円

6 「暴力団・薬物事犯」の検挙状況

暴力団検挙人員は前年同期に比べ69人（50.4%）減少した。

薬物事犯検挙人員は前年同期に比べ3人（6.4%）減少した。

	暴力団検挙人員			薬物事犯検挙人員			
		刑法犯	特別法犯		覚醒剤	大麻	その他薬物
令和元年1～6月	68	51	17	44	31	13	0
平成30年1～6月	137	115	22	47	41	6	0
増減数	-69	-64	-5	-3	-10	7	0
増減率	-50.4%	-55.7%	-22.7%	-6.4%	-24.4%	116.7%	—

※ 平成30年の薬物事犯検挙人員には、余罪を含む全薬物事犯被疑者を計上しているため、警察庁の統計数値と異なる。

7 「来日外国人犯罪」の検挙状況

検挙件数は前年同期に比べ4件（5.7%）増加した。

	総数		刑法犯		特別法犯	
	検挙件数	検挙人員	検挙件数	検挙人員	検挙件数	検挙人員
令和元年1～6月	74	57	44	32	30	25
平成30年1～6月	70	48	39	25	31	23
増減数	4	9	5	7	-1	2
増減率	5.7%	18.8%	12.8%	28.0%	-3.2%	8.7%

8 「不法滞在者」の検挙・摘発状況

検挙・摘発人員は前年同期に比べ12人（34.3%）減少した。

	検挙・摘発人員	
		うち 合同摘発
令和元年1～6月	23	6
平成30年1～6月	35	16
増減数	-12	-10
増減率	-34.3%	-62.5%

※ 「不法滞在者」には、不法残留、不法在留のほか、資格外活動で検挙・摘発した外国人を含む。

9 「非行少年等」の検挙・補導状況

(1) 非行少年

非行少年は前年同期に比べ17人（12.2%）減少した。

	総数	刑法犯少年	特別法犯少年	ぐ犯少年
令和元年1～6月	122	104	18	0
平成30年1～6月	139	127	12	0
増減数	-17	-23	6	0
増減率	-12.2%	-18.1%	50.0%	0.0%

※ 非行少年とは、犯罪又は触法行為若しくはほぐ犯行為により検挙又は補導された少年をいう。

(2) 不良行為少年

不良行為少年は前年同期に比べ72人（7.7%）減少した。

	総数
令和元年1～6月	861
平成30年1～6月	933
増減数	-72
増減率	-7.7%

※ 不良行為少年とは、喫煙、飲酒、深夜はいかい等により補導された少年をいう。

10 「交通事故」の発生状況

人身事故件数、死者数、負傷者数とも前年同期に比べ減少した。

	人身事故 件数	死者数	負傷者数	
			重傷	軽傷
令和元年1～6月	1,862	34	2,412	2,121
平成30年1～6月	2,357	38	3,091	2,741
増減数	-495	-4	-679	-620
増減率	-21.0%	-10.5%	-22.0%	-22.6%

注：各表記載の令和元年1～6月の数値については、暫定値である。